

政務活動費調査研究報告書

会派名 市民の会

氏名 大塚 正 俊

日 程	令和 5 年 10 月 25 日（水）午後 1 時 30 分～4 時 50 分 10 月 26 日（木）午前 9 時～11 時
場 所	北九州市西日本総合展示場新館
相 手 方	全国市議会議長会
参加議員	大塚 正俊、千木良 孝之、須賀 要子、木佐貫 佳子
目 的	全国市議会議長会研究フォーラムに出席し、基調講演、パネルディスカッションを通して「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」について情報共有を行う。
内 容	<p>今回の全国市議会議長会研究フォーラムには、全国の市区議会議員 2399 名が参加しました。</p> <p>近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年 12 月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年 4 月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後の更なる取り組みが求められているところです。そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望することを目的に開催されました。</p> <p>初日の基調講演では、大正大学の片山善博教授より、「躍動的でワクワクする市議会に」と題してご講演を頂きました。</p> <p>鳥取県知事時代の話を中心に「地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証」などについてお話を伺いました。</p> <p>パネルディスカッションでは、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」について、4 名のパネリストから提言を頂きました。</p> <p>コーディネーター；日本経済新聞編集委員 谷 隆徳 パネリスト；西南学院大学法学部教授 勢一 智子 近畿大学法学部教授 辻 陽 Stand by Women 代表・女性議員のハラスメント相談センター 共同代表 濱田 真理</p> <p>北九州市議会議長 田仲 常郎</p> <p>翌日の課題討議では、「議員のなり手不足問題への取組報告」について、議員 3 名から事例報告と討議が行われました。</p>

	<p>コーディネーター；大正大学共生学部公共政策学科 教授 江藤 俊昭</p> <p>報告者；登別市議会議長 辻 弘之 一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員 たぞえ麻友 枕崎市議会議長 永野慶一郎</p>
<p>成 果</p>	<p>片山教授の基調講演で、議員の役割とは「首長が提出した予算案や条例案の内容をチェックし、与えられた審議議決権を行使して議案の可否を判断し、その結果に責任を持つことが本質だ。一般質問などで政策を執行部に提案することが最も重要な役割だと勘違いしている議員もいるが、それは誤った認識。提案を否定するものではないが、議会は立法機関であり、議案の最終決定者という自覚を欠いてはいけない。議員の能力や議会機能が低下すれば執行部の緊張感も薄れ、地方自治体のレベルが下がってしまう。」とのご示唆を受け、上程された議案等の審査をさらに深く突き詰めて審議議決権を行使していきたいと深く反省しました。</p> <p>さらに、「議案審議する際に住民が議会で直接、政策案に対して意見を述べる場が設けられるべきだ。さらに有識者を招き、専門的な見解も聴けば審議はさらに充実し、広く理解を得られやすくなるだろう。執行部も真剣に予算編成や政策立案しているが、全てが完璧ではない。議会側は審議に費やす時間が足りなければ、会期を延長したり、通年議会を採用していつでも議会が開けるようにしたりすればいい。」</p> <p>今後、地方議会に期待することとして、「地方自治の砦になることだ。例えば、国の政策や方針が変わることに伴い、市町村で新規事業を予算化することなどがあるが、それが本当に地域の実情に即しているか内容を吟味し、自分たちの自治体に適したやり方ができるかが問われる。議会の形骸化は議員のなり手不足の原因でもある。有権者は選挙で議員候補を選ぶ際、公正かつ誠実で地域本位に考えられる人かどうか見極めてほしい。議会改革への一歩になる」とのご示唆を頂戴し、さらなる議会改革の必要性を痛感しました。</p> <p>また、今年4月の統一地方選では、全体としては無投票当選が増加傾向にあること、また女性議員が増加しているもののまだまだ少数で、議会・議員の多様性を確保することの重要性などが指摘されました。今回のフォーラムでは、改めて議会の役割、あり方とともにそれを構成する議員のあり方、候補者発掘などを考える上で、有意義なものでした。</p> <p>多様な課題、多様なニーズなど新たな現在社会における地方議会としての存在意義、使命、責任などを再確認することができました。</p>